

生徒

第 59 回 神奈川県立高等学校 PTA 連合会 県大会発表資料

- 02 小田原高校紹介
- 06 委員会紹介
- 08 発表テーマ「参加しやすい PTA を目指して」
- 09 事例 1 「講演会を見逃し配信で」
- 10 事例 2 「PTA 独自のホームページ制作」
- 12 事例 3 「Web から直接申し込み」
- 14 アンケート（役員・委員）
- 15 まとめ

家庭



学校紹介 ～ 小田原高等学校の魅力～

120年の歩み

創立前史

- 文政 5 年 小田原藩主大久保忠真が小田原城三の丸に藩校「集成館」を創設
- 明治 5 年 県学校文武館が廃止され、足柄県が変則中学「共同学校」を開校
- 明治 9 年 神奈川県が「小田原講習所」中学科を継続

旧制中学校時代

- 明治 33 年 文部大臣が神奈川県第二中学校を小田原町に設置することを認可
- 明治 34 年 初代校舎落成、開校、初代校長吉田庫三先生
- 明治 44 年 校訓制定『至誠無息』（山県有朋書）
- 大正 2 年 神奈川県立小田原中学校と改称
- 大正 3 年 八幡山に第二代校舎落成、この頃校訓『堅忍不拔』（東郷平八郎書）制定
- 昭和 2 年 第三代校舎落成
- 昭和 23 年 PTA 発会

新制高等学校時代

- 昭和 23 年 神奈川県立小田原高等学校と改称、校章「櫨の葉」制定
- 昭和 24 年 校友会を「生徒会」と改称、第 1 回文化祭開催
- 昭和 39 年 第四代校舎落成
- 昭和 63 年 米国ホイットマン高校を第 1 回親善訪問
- 平成 13 年 創立百周年記念式典挙行
- 平成 15 年 学力向上実践推進校に指定
- 平成 16 年 小田原城内高等学校と再編統合、単位制による全日制普通科高校へ移行、定時制課程併置、校史展示室開設
- 平成 19 年 第五代校舎落成（現在の校舎）、学力向上進学重点校に指定
- 平成 28 年 県立高校改革実施計画により学力向上進学重点校エントリー校とグローバル教育研究推進校に指定
- 平成 31 年 県立高校改革実施計画により理数教育推進校に指定
- 令和 2 年 創立百二十周年記念式典挙行（動画配信）

＜小田高百二十年史～創立百十周年からの歩み～より＞

石碑で見る歴史

小田原高等学校周辺の丘陵は八幡山と呼ばれ、その周辺には八幡山古郭という中世小田原城の城郭遺構が残り、発掘調査もされてきました。小田原の歴史とともに歩んできた小田原高等学校の敷地内外には、多くの石碑や発掘時に発見された井戸、海軍より寄贈された時鐘等があり、その歴史に触れることができます。

- ② 堅忍不拔
「どんなことにもじっと耐え忍び、くじけないことが大切である」
- ③ 至誠無息
「この上ない誠実さやまごころは終わることがなく永遠なものである」
- ④ 校舎建て替え時の発掘調査で発見された井戸の跡
- ⑤ 日清戦争の際に収容した旧清国甲鉄艦「鎮遠」の時鐘。授業や試験の時報を告げる鐘としてかつて使用されていた
- ⑦ 東郷平八郎揮毫（きこう）の忠魂碑
日支事変、大東亜戦争の戦没者の名を刻んだ碑
- ⑩ 小田原高等学校と再編統合された小田原城内高等学校の前身小田原町立高等女学校の門柱を利用したモニュメント
- ⑪ 山県有朋揮毫の丹心碑
- ⑫ 吉田庫三初代校長と岡部宗孝第2代校長の建学精神を伝える碑



政治



河野 一郎 氏

副総理

農林大臣、日ソ国交回復に尽力
自民党総務会長

経済



磯崎 功典 氏

キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長

ビール事業収益基盤強化、医薬
バイオケミカル事業の成長を実現



瀬戸 薫 氏

ヤマトホールディングス株式会社
元代表取締役会長

宅急便開発、クール宅急便開発



山本 忠人 氏

富士ゼロックス株式会社
元代表取締役会長

全社的構造改革、事業構造転換を
企画・推進

学術



中戸川 仁 氏

東京工業大学
生命理工学院 准教授

オートファジーの仕組みを解明

文学



山田 太一 氏

脚本家・小説家
代表作 テレビドラマ

「岸辺のアルバム」
「ふぞろいの林檎たち」

小田原高等学校からは、政治・経済・文学・学術・スポーツ・芸術・芸能等、多岐にわたり活躍・貢献されている多くの卒業生を輩出しています。卒業された後も、母校への愛校心が強く、とても協力的で講演会の講師としても来校していただきます。一部の卒業生をご紹介します。

スポーツ



澁谷 寿光 氏

箱根駅伝のコース設計
箱根駅伝審判長

東京オリンピック審判団団長
(1964年)



原 三郎 氏

ロサンゼルスオリンピック
ボート競技日本代表選手
日本ボート協会理事長



内野 正雄 氏

メルボルンオリンピック
サッカー日本代表選手
古河電工サッカー部 監督
(現ジェフユナイテッド千葉)



松下 祐樹 氏

リオデジャネイロオリンピック
400mハードル日本代表選手

芸術・芸能



合田 雅吏 氏

俳優
テレビドラマ「水戸黄門」に格さん
役でレギュラー出演



小田原高等学校の魅力、それは小田高生そのものです。

メリハリがあり、行事等では自分自身が楽しみ周囲も楽しませる力を持っている生徒たち。自主性や協調性もあり、多才な感性を存分に発揮します。そして、そんな生徒たちの自主性を尊重し、温かな目で見守る教員。必要に応じてアドバイスやフォローをする光景に、双方の信頼関係が築かれていることが分かります。

そのような関係性が築けているのも小田原高等学校の魅力の一つです。

コロナ禍という困難な状況にもじっと耐え忍び、誠実さと真心を持って何事にも取り組む姿は、校訓の「至誠無息」「堅忍不拔」そのもので、それこそが小田原高等学校の魅力です。

保護者に聞きました、小田高の魅力は？

- ・ 自由な校風、伝統校なので形式ばった部分があるかと思っただが、高校生らしく過ごせるように先生方も保護者も頑張っている
- ・ 自分の出し方、楽しみ方、人を楽しませるサービス精神までも身につくような要素が学校のカリキュラムに入っている
- ・ どの子もその時々、その場の状況に応じてそれぞれの楽しみ方を見つけ、精一杯楽しむ力を持っている
- ・ 生徒たちはとても好意的で温かい雰囲気
- ・ 生徒たちに声をかけると、言葉を選び答えてくれ、対応力が備わっている
- ・ 文武両道、やるときはやる！
- ・ 来訪者にしっかり挨拶が出来る
- ・ 自分の事ばかり考える「利己」ではなく、他を思いやる「利他」の気持ちがあり、『みんな違っていい』を理解している
- ・ 生徒たちは、協力的で行動力があり、優しく自主性のある人が多い
- ・ 小田高祭では、生徒それぞれの得意分野を発揮し、協力して作り上げる演劇は観るものを感動させる
- ・ メリハリがあり、優しく多彩な子が多い
- ・ 先生方が熱心、廊下などで勉強を教えたり相談に乗っている場面をよく見かける
- ・ 先生方の責任感が強い
- ・ 先生方は、行事などで生徒の自主性を重んじつつ、任せきりにするのではなくフォローやアドバイスをくださる
- ・ 生徒と保護者の出入り口が一緒に開放感があり明るい
- ・ 校内が綺麗で、設備が整っている
- ・ 小田原城の跡地で、かっこいい
- ・ 学校の立地が良く、校舎から見える景色が素晴らしい
- ・ 長い歴史があり、多くの卒業生が社会や地域で活躍・貢献され、地域からとても愛されている
- ・ 卒業生は巣立ったあとも母校に愛着があり、小田高に対して協力的
- ・ 図書室の蔵書量と新書入荷の早さ

委員会紹介

広報委員会

①活動に際し心掛けている点、方針、ポリシー等

広報紙は、生徒たちの活動や学校の様子、またPTAの活動を保護者や地域に向けて発信する紙面です。高校生になると家庭での会話も減り、学校での様子が見えづらくなってきます。広報紙では、何事にも一生懸命な生徒たちの姿を1枚でも多くの写真に収め、その様子をお伝えし、ご家庭での会話の糸口になってもらえたら、と思い活動しています。また、PTAの活動を掲載することで、保護者の方々に興味関心を持っていただけるよう心掛けています。

②「参加しやすいPTAを目指して」

広報委員の特権は、各行事を取材することで、子どもたちととても近い距離で活動できることです。普段なかなか見られない、はじけるような笑顔、真剣な表情、たくましい姿を、たくさん見ることができます。ボランティアの募集はしていませんが、広報委員になって一緒に活動し、学校を身近に感じてほしいと思います。

③コロナ禍の活動で工夫した点

取材で学校へ行く際には、検温、体調チェックをしてから訪問。訪問時には消毒の徹底、取材時は密にならないよう細心の注意を払いました。Web会議で済む場合は学校へ行かずZoom会議にて行いました。

①活動に際し心掛けている点、方針、ポリシー等

成人教育委員会では、役員が楽しく活動すること、自分たちが「参加したい!」と思うようなイベントを「保護者の目線」で企画することを心掛けています。イベントに参加していただくことで交流の機会が生まれ「保護者同士の繋がりがない」「子どもから学校の様子を知ることが難しい」など、保護者が感じている不安が少しでも取り除かれて子どもたちの元気な笑顔につながることを期待しています。

②「参加しやすいPTAを目指して」

ホームページの成人教育委員会のページにイベント情報を掲載し、ポスターや申込用紙にはQRコードを添付して情報に簡単にアクセスできるようにしました。イベントの申込は従来からの「申込用紙」に加え「Web申し込み」を実施、保護者の手元にプリントが届かない・・・という「小田高あるある」への対応として、子どもを経由せずに保護者が直接申込みできるような仕組みを考えました。イベント申込者へ案内は、プリント・メール・LINE等を使用し、必要な情報が確実に行き届くように工夫しました。

③コロナ禍の活動で工夫した点

昨年度は、企画変更してZoomによる「オンライン講座」を実施して会員の交流の場を作りました。大変好評で、初めて保護者同士の交流に参加して感涙したという声もありました。そこで今年度は、「実際に会って交流できる場を」と社会見学(バス旅行)を企画しました。安心して参加していただけるよう、企画実施における感染症対策について募集案内に明記し、万が一中止となる場合を想定して実行委員会での企画の「中止条件」を定めて申込者へ案内しました。

広報紙「小田高」43号

社会見学「バス旅行」

小田高祭バザー

環境整備

体育祭バザー

趣味の講座

広報紙「小田高」44号

環境整備 花植え

広報紙「小田高」45号

成人教育委員会

①活動に際し心掛けている点、方針、ポリシー等

花壇整備やバザーなど小中学校で経験された方も未経験の方も含めて、学年関係なく皆で話し合い方向を決めて活動をしています。皆で話し合うことで小田高PTAの伝統を踏襲するだけでなく今の時代に合った活動方法を模索して行動できるように厚生委員会というチームとして一丸となって、先生方はじめ子どもたちのサポートをしています。

②「参加しやすいPTAを目指して」

誰でも参加できる委員会を目指しています。バザー開催時にはサポートスタッフはじめ、先生方子どもたち、保護者の皆様と触れ合う楽しい時間を過ごせます。お互いにフォローしあえる仲間として無理せず活動できる委員会を目指しています。

③コロナ禍の活動で工夫した点

私たちは学校内での活動が主なため、できる限り学校の方針の下で野外活動時は校舎内での活動は自粛し、イベント開催は子どもたちを第一に考えて県の指導要綱に基づき学校と協議し、開催する場合は新しい生活様式に沿って感染防止策を講じ活動しています。

厚生委員会

本部

①活動に際し心掛けている点、方針、ポリシー等

全ての活動がスムーズに行われるように、委員会、学校、会員のサポーターを目指します。

②「参加しやすいPTAを目指して」

全ての会員にPTA活動に関心・興味を持っていただけるよう、PTAの話題を受け取りやすい形で提供していきます。また委員、教員の活動への負担を減らす工夫をすすめていきます。

③コロナ禍で工夫した点

対面での実行委員会が出来なくなり、急遽Zoomによる実行委員会の開催を可能にしました。例年対面で行われていたPTA入会金の徴収、会計監査、PTA総会などを、学校の協力をいただきながら、コロナ禍でも可能なやり方を模索し、実行しました。

学年委員会

①活動に際し心掛けている点、方針、ポリシー等

先生と生徒と保護者の架け橋となる活動、年次別懇談会を実施し、子どもたちの学校と家庭の様子を先生と保護者が共有できるようにしています。

夏のスポーツ大会で、子どもたちの熱中症対策の水分補給活動を行うにあたり、保護者よりボランティアスタッフを募集し、PTA会員相互のふれあいと交流の機会を設けています。

主催する講演会の計画の際には、保護者の子育ての手助けとなる内容を検討し、子育ての悩みや不安の解消に役立つ内容を目標としています。

②「参加しやすいPTAを目指して」

行事を早めに告知する事により内容に興味を持ってもらい、行事への参加予定が立てやすい様にしています。例)10月の講演会は新入生へは入学式の際に案内しています。行事への参加申込みはWebで案内し、案内画面で直ぐに申し込める様にすると同時にプリントでの配布通達も行い、周知案内の漏れが無い様にしています。

ボランティアスタッフの募集は、入学時にボランティア登録したPTA会員へメールで行い、ボランティアスタッフに決定した会員への連絡は、メールとプリントの両面から案内を行っています。

③コロナ禍の活動で工夫した点

各行事で、人数制限/体調チェックシート作成/検温/消毒/入場待ちの立ち位置シール/会場の机と椅子の消毒/間隔を空けた着席/換気を行っています。

講演会へ来場できない会員の為にWeb視聴の希望申し込みを受付け、パスワードを付けて期間限定で配信しました。

PTA入会説明会

PTA総会

年次別懇談会

→YouTubeでの配信

防災倉庫点検

防災倉庫在庫整備

スポーツ大会 給水サポート「おあしす」

防災特別委員会

県西地区大会:発表

PTA講演会

地区交通安全大会

防災特別委員会

①活動に際し心掛けている点、方針、ポリシー等

「陰ながら生徒を支えるお手伝いをする」をポリシーに、万が一災害が起こった場合に必要防災用品がすぐに使用できるように、倉庫の場所や備品のリスト管理などを細かく行い、点検後は委員会で話し合い、消費期限の報告はもちろん、気付いた点を担当の先生に報告しています。通学時だけでなく、日常生活において万が一事故に遭ってしまった時に慌てず対応ができるようセーフティカードを作成し、生徒に配布しています。

②「参加しやすいPTAを目指して」

イベントを行うような委員会ではないため一般のPTA会員には馴染みがないかもしれませんが、委員会自体は他の委員会よりも敷居が低いのではないかと思います。個人持ち用防災用品のポスターを作成し、小田高ホームページにも備品リストを掲載したことで、身近に感じてもらえたら嬉しいです。

③コロナ禍の活動で工夫した点

コロナ禍においては集まってしまうのが難しかったため、なるべく短時間で人が密にならないように作業しました。確認する倉庫の数を減らし、その分先生に確認していただきました。

安全対策委員会

講演会楽しみにしていたのに
仕事と重なってる

申し込みしたはずなのに
届いていない

小さい子どもがいて
なかなか参加できない

PTA 役員って
いつも集まっていて
大変そう…絶対無理～

PTA って何やってるか
よくわからない??

カバンの底から
クシャクシャの
プリントが!!

このプリント
申し込み期限切れてる

PTA あるあるですね。 イベントを開催しても会員に伝わらない、参加できないのでは意味がない。そこで、小田高 PTA では会員の皆さんに気楽に PTA 活動に参加していただくために、「**PTA へのハードルを限りなく無くす**」バリアフリー化にチャレンジしました。新しいことには失敗はつきものとわかっていましたが、慣れない Web に翻弄され、セキュリティの壁にぶちあたり、試行錯誤の連続でした。そして、約 2 年の歳月をかけ、やっと一筋の光が見えてきました。その奮闘の数々を皆さんと共有したいと考え、今回の発表テーマを決定いたしました。

発表テーマ「参加しやすい PTA を目指して」

「参加しやすい」イベントにするために、「①情報をタイムリーに伝える ②情報を確実にやりとりする ③参加しやすい方法を用意する」という 3 つのポイントを考えました。そして、このポイントを踏まえ実際の活動を見直し、改善か新しい方法を試みるかを話し合いながら、活動の中で試してきました。今回の発表では、その内容や How to を紹介いたします。また会員、委員、役員のアンケートからそれぞれのポイントのメリット、デメリットを探っていきます。

Before

情報を伝える方法

- ・広報紙
- ・学校の H.P.
- ・マチコミ
- ・プリント（生徒経由）
- ・ポスター
- ・口コミ

参加方法・スタイル

- ・プリントで申し込み（生徒経由）
- ・会場に行く

情報をタイムリーに伝える

情報を確実にやりとりする

参加しやすい方法を用意する

After

情報を伝える方法

- ・Web の活用
- ・PTA 独自の H.P.
- ・広報紙に H.P. の QR コード
- ・マチコミに URL
- ・プリントに QR コード
- ・参加者メーリングリスト

参加方法・スタイル

- ・マチコミから申し込み
- ・講演会の後日配信
- ・Zoom による開催

具体的な 3 つの事例を紹介します➡

① 講演会を見逃し配信で - 参加しやすい方法を用意する -

Before

学校の視聴覚教室で、決まった日時で開催されていた PTA 講演会。聴きたいと思っても、仕事を持っている会員、小さなお子様をお持ちの会員は、その時間に足を運ぶことは簡単ではありませんでした。

After

講演会の様子を収録し後日 Web 配信することで、期間内であればいつでもどこでも視聴できるようにし、参加のハードルを下げることができました。

How To 配信・案内・収録方法

配信方法

- ・PTA サーバーより配信
 - ・パスワード付き
 - ・期間限定
 - ・生徒・会員に限定
- とし、講演者から配信の承諾を得る

案内方法

- ・マチコミ、プリント
- で視聴方法を案内



収録方法

- ・委員会内で技術がないため、教員が撮影する。

Review 評価

当日来場者数 127 人、後日映像配信利用者数 138 人と、後日配信を取り入れることで多くの会員に視聴していただくことができました。「家でゆっくり聞けた」「子どもと一緒に視聴した」等、後日配信の評価は高く今後も継続して欲しいという多くの意見が寄せられました。

今後の課題は、音声聞き取りづらい、雑音が入る等、収録のハード面でのことが多く、技術の見直しで改善できそうです。また自宅のパソコンで見られない会員もあり、事前に視聴方法を確認、検討する必要があります。

② PTA 独自のホームページ制作

- 情報をタイムリーに伝える -

Before

PTA から会員に直接情報を伝える方法は、広報紙・プリント・マチコミ・学校のホームページからのリンクと複数ありますが、タイムリーに情報を伝える媒体としては、満足のいくものではありませんでした。

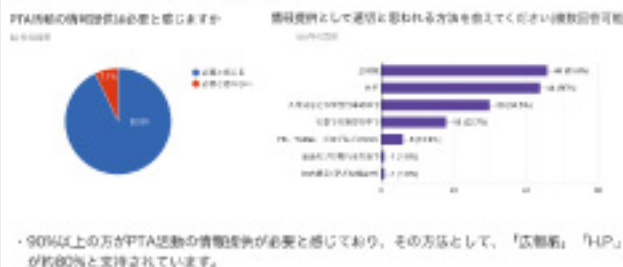
After

PTA 独自のホームページを持つことで、伝えたい情報を伝えたい時に届けられるようになりました。

ホームページを制作するにあたり、各委員会メンバーに「必要性」「内容」「更新頻度」に関するアンケートを取りました。その結果、ホームページは必要との結論が出ましたが、負担感、セキュリティなどの懸念材料も出てきました。このアンケート結果を踏まえ、2020年にPTA独自のホームページ作りがスタートしました。

小田高 PTA ホームページ (H.P.) に関するアンケート結果 (2019/12 回答数 57)

① PTA活動の情報の伝え方



② H.P.閲覧の現状



Q.仕事をしていますが、役員・委員になれますか?

A.問題ありません。PTAはお互いに協力し合い、出来る範囲で活動していますので、無理をせず参加することが出来ます。

Q.知り合いがいないため、不安なのですが・・・

A.同じ中学のお知り合いがいない方も数多くいらっしゃいます。PTA活動を通じて、すぐに仲良く楽しい人脈が広がります。先輩方や先生との交流もあり、学校の情報も得られ、学校がより身近に感じられるようになります。

Q.今までPTA委員・役員の経験がありませんが出来ますか?

A.経験の有無は関係なく、どなたでも大丈夫です。先輩役員・委員と協力し活動していきますので、安心して参加できます。

Q.父・母、どちらでも役員・委員になれますか?

A.現在、男性役員・委員も活躍しています。是非お父さんもお参加ください。ご夫婦での参加も歓迎です。

Q.委員会はどのくらいのペースでありますか?

A.委員会により異なりますが、主に月に1回2時間程度です。また、必要に応じて行事の前に集まることもあります。

Q.任期は何年ですか?

A.規約上の任期は1年間ですが、これまでほとんどの方が3年間継続されています。サポートスタッフは行事ごとです。

Q.交通費は支給されますか?

A.PTA活動はボランティアで成り立っており、通常の委員会での交通費の支給はありませんが、県大会等の校外活動へ参加する場合は支給されます。

事前準備・運営

- ・サーバーの契約** PTA 独自の H.P. を制作するため、さくらのレンタルサーバーと契約。
- ・制作ツールの検討** 継続性を考え、制作・更新しやすい H.P. 作成ソフト『WordPress』を選定。いくつかのテーマからイメージに合うものを選択してカスタマイズ。
- ・内容の検討** PTA 情報をタイムリーに伝えることが目的ですが、委員募集にも使えるように、規約、PTA “Q&A”、委員会紹介など幅広い情報を掲載。会員から PTA に直接連絡が取れるよう Contact を設置。
- ・運営方法** 委員会+本部で記事を作成し、内容を学校で確認後、本部で更新。

H.P.



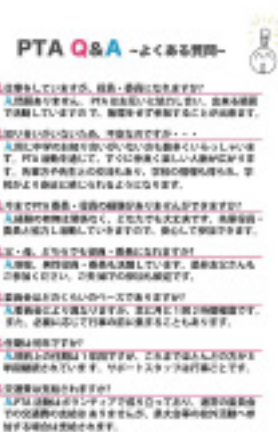
ホームページ QR



ホームページ:Top



ホームページ:イベント告知



ホームページ:PTA Q&A

Review

評価



2021/3/21 に、ホームページを開設してからの訪問者の統計です。入学式等学校でイベントがある時には訪問者が増えることから、会員はより詳しい情報を求めていると思われます。そのためにも質のいい情報を提供する必要があります。

Contact から直接 PTA に様々な質問が来るようになってきました。普段とは違う視点からの質問は PTA に求められていることがダイレクトに感じられます。質問は実行委員会で共有され活動に反映させることができるようになりました。

会員に対するイベントの告知はマチコミ、プリントの他、イベント時のポスター・チラシに限られていましたが、H.P. で事前に詳しい情報が告知できるようになり、参加の反応が早くなったように感じます。

今後の課題：『WordPress』は更新が簡単だと考え採用しましたが、Web に慣れない方には少し難しく感じるようです。更新方法が理解しやすいマニュアル作りを進める必要があります。

③ Web から直接申し込み

- 情報を確実にやりとりする -

Before

イベントの申し込みは、生徒を通じてプリントを配布し、参加希望者は申し込み用紙に記入して担任を通じて提出するのみでした。しかし、この方式だと子どもからプリントが届かない、気がついた時には申し込みが終わっている等、確実に情報を届けることができていませんでした。

After

登録率の高いマチコミに申し込みの URL を掲載することで、会員が、子どもを介さず Web から直接申し込みができるようになりました。従来の方式と Web を併用することで、より確実に全会員に情報を届けることが可能になりました。

How To Web 申し込み方法・参加者管理方法・メーリングリスト

① Web 申し込み方法 | 問題点 | 解決方法

プリントに
QR コード

マチコミに
URL 掲載

① プリントで申し込みされた方への対応

② 携帯電話の一部の機種から、マチコミ画面の URL をクリックしてパスワードを入れても画面が開けない

③ 申し込みはできても完了メールが届かない (携帯のアドレスに多い) 迷惑メール対策のためはじかれて、届かない人も…

① 管理側でプリントの内容を Web 申し込みしてリストに加える

② マチコミの仕様が原因
対処法は、申込用 URL をコピーしブラウザからアクセスしてもらう

③ ドメイン登録のお願い

② 参加者の管理方法 | 問題点 | 解決方法

情報を確実に
伝達するために

メーリングリスト
の作成

① 申込者への連絡は全保護者対象ではないのでマチコミは使えない

② メーリングリストから一部、メールが届かない申込者がある

・ docomo → エラーメッセージが返ってくる
・ iCloud や ezweb → エラーメッセージは返ってこないがメールが届いてない人がある

↓
メールが届いているのか届いていないか分からなくなった

① メーリングリストの作成

② ・ 確認メールを委員会の公式アドレスから送り、返信をお願いする

・ 返信がない方に、違うドメインのアドレスから確認メールを送る
・ それでも確認が取れない方には電話連絡

3 メールリスト の制作

急なイベントの内容変更や中止等の連絡を確実に伝えることができる

参加者に情報が伝わっているかを確認できる

携帯電話・ブラウザの仕様により、メールが確実に届いてるかを確認したり、確認メールを何度も送信したりすることによりかなりの労力を使ったメールリストを使用せず、複数人へメールを送信したり、補助的にLINEを使うなどの方法も考える必要がある

Review 評価

Webで募集、申し込みが完了することで、情報が届かないということはほとんどなくなりました。そして、Webからの申し込みは状況がすぐにわかるため、人数把握が早くできるようになりました。

申し込みで、参加者のメールアドレスを確認できるようになり、イベントの変更等がスムーズに伝えられるようになりました。

メールリストを作ることで、全体の把握、連絡がスムーズになっただけでなく、イベント終了後のアンケートが可能になりました。

Web申し込みはうまく浸透するか心配でしたが、「次回もWebで申し込みたい」が100%と、参加者から高い評価を得られました。

携帯、ブラウザの仕様により申し込みができないことが発生し、その対処にかなりの時間がかかりました。

参加者への連絡をメールリストだけで行おうとしましたが、メールだけでなくLINEを補助的に使うなど携帯、ブラウザの仕様にとらわれない方法を考えることが、今後の課題だと考えられます。

社会見学会 web 申し込みに関するアンケート結果 (2021/7 回答数 44)

1 お子さまの学年

1年	12
2年	12
3年	16
OB	4

2 社会見学の申込方法

Web	29
プリント	13

3 Webでの申込は

簡単だった	26
難しかった	1
どちらでもない	2

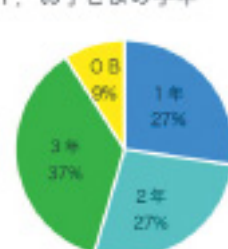
4 次回もWebで申込をしたいですか？

はい	29
いいえ	0

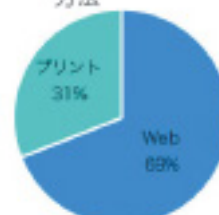
5 いろいろな情報が書面だけでなく、メールやラインで届くことは、

良かった	41
良くなかった	1
どちらでもない	2

1. お子さまの学年



2. 社会見学の申込方法



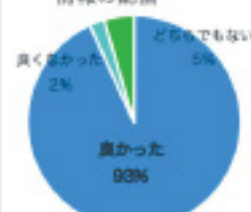
3. Webでの申込は



4. 次回もWebで申し込みたい



5. メール・LINEでの情報の配信



発表テーマ「参加しやすい PTA を目指して」

「PTA の情報を全会員に漏れなく伝える」あまりにも当たり前すぎて、深く考えていなかったことではないでしょうか。「参加しやすい PTA を目指して」をテーマとして掲げた時、PTA 活動に参加するハードルを上げているのは、PTA をよく知っていただけていないことが問題ではないかという考えに至りました。

情報を伝える手段は進歩し、そして、使いやすいツールが増えてきたように感じています。しかし、実際に取り入れてみると、様々な問題があることがわかりました。小田高 PTA は一つ一つ問題を検討し、今回ご紹介したツールを使うことで、会員に対してタイムリーで漏れの無い情報を伝えることができるようになったと考えています。

もう一つ大事なことがあります。

PTA 活動は、子どもたちのより良い高校生活をサポートすることを目的として、各委員会が中心になって学校や多くの人の協力のもとに行われています。そして、役員、委員として活動に参加される方は、少しでもよくなるようにと頑張っています。ただここに PTA のもう一つのハードルがあるように感じています。それは、活動を引っ張っている方の負担が大きくなっていくということです。それでは活動を継続することが、難しくなってくるのではないのでしょうか。今回のテーマを形にしたことは、会員には高評価でした。そこで、運営する役員や委員がどのように感じているかのアンケートを取りました。この結果を参考に、役員、委員の負担を減らすことを考え、PTA 全体として「参加しやすい PTA」を目指していきたいと思っています。

最後に、皆で発表内容を作り上げていくことで、自校の PTA 活動を見直す良いきっかけとなりました。このような機会を与えてくださったことに、感謝申し上げます。

テーマを検討していく中で出てきた新しい試み

- ・ Zoom 趣味講座
- ・ サーバーでのデータ保管、引継事項等の管理
- ・ Google カレンダーでの会議室スケジュール管理

+α

